



田中 一正 議員

# 将来を担う子供達に 安全の場を

**問** 原発事故の影響で園児数が激減している。私立幼稚園経営が厳しい状況にあるが、市は把握しているか。

**答** 現在の園児は、144名と当初予定の30.4%であり大変厳しい状況にあると捉えている。

**問** 園庭は昨年除染し線量が下がっているが他の施設は高い部分がある。個人負担が大きいため、除染が進まない状況である。市の対応を伺う。

**答** 線量が落ちない箇所があると聞く。市の除染計画の中で取り組んでいきたい。

**問** 市の除染計画は西の線量の高い地域から進めてくる。

いつになるか解らない教育施設に関して、早急な対応が必要では。

**答** 園児が生活する場

所なので、優先的に除染するよう担当部局にお願いして行く。

**問** 私立幼稚園と公立幼稚園では保護者負担に大きな差がある。

**答** 私立幼稚園の経営は、保護者負担の在り方も含めて支援策等を考えていきたい。

**問** 相馬野馬追祭の祭場地観覧席の線量が高めと思うが除染の考え方を伺う。

**答** 騎馬の走路、羊腸



元気にあそぶ子供達(原町区青葉幼稚園)

の坂、階段については除染した。他は後日、生活圏の除染と一緒に

行う予定である。

**問** 観光客から不安の声が上がった場合は。

**答** 祭場地の線量はホームページで公開し、旅行者には報告している。

## 質問を終えて

2年ぶりの相馬野馬追祭。おもてなしの心はこれで充分なのかなあ？

### その他の質問

① 近隣市町村民の受け入れは

② 宅地開発は

③ 旧警戒区域の復旧復興は



土田美恵子 議員

# 健康と命を守る 対策は

**問** 小児用インフルエンザワクチン予防接種の公費助成は、平成23年度同様に平成24年度も接種費用の一部を助成する考えがあるか伺う。

**答** 健康被害を最小限にするためには重要であるのとらえています。平成23年度には公益財団法人日本ユニセフ協会から支援を受け、費用の一部を助成したところで、今年度も財源確保と支援を受けるため調整を現在行っているところとです。

**問** 集荷野菜の検査体制は、現在、販売用の野菜用の放射線物質の測定は、県が郡山農業総合センターにおいて計画測定を実施しており、検査結果が出るまで一週間程度かかっている状況にあり今後の野菜の安全性確保、また消費者の信頼の回復

を図るために集荷野菜の検査体制を構築して放射線量測定機器の設置が必要と考え、市の見解を伺う。

**答** 県及び関係団体と協議をしているところで、出来るだけ早期に運用開始を目指す考えである。

**問** 資格を有する人材の確保は、集荷野菜の検査体制を構築するにあたっては、放射線量

測定機器を取り扱う専門の資格を有する人材の確保が必要と考えますので、さらに市の見解を伺う。

**答** 測定職員の方たちを放射線の測定に関する研修へ積極的に参加させることにより検査体制の拡充を図る。

## 質問を終えて

放射能で全ての物が汚染されてしまった。空気も水も土も人も元の状態に戻して欲しい。

### その他の質問

① 屋内遊び場確保事業の取り組みは

② 救急医療情報キット「Q救キット」導入

③ 山際行政区の除染は



仮設住宅での予防接種



山田 雅彦 議員

# 仮置き場早期設置に 政治決断を

**問** 今なお仮置き場が定まらないのは、市が仮置き場設置に取り組んだ考え、姿勢、方向性が誤りではなかったのか。高い線量のもの

を低い地域に持ってきては困るというのは、誰でもある程度理解できているが、そうした状況が分かっていながら沿岸部の市有地を設定した市の判断に甘さがあつたのではないか。

**答** 原町区、鹿島区それぞれ一カ所の仮置き場は、まずは市有地であること、次にある程度広い面積であることをもとに選んでいきました。放射線量の高い所の除去土壌等を低い所に持ってくる運搬経路とか、実際にその近くにいる方の感情を考えると、そういうことも考えられたのかと思つていますが、管理するためにも少ない

数で完全な物にして管理をしていく考えでした。

**問** 山際の4行政区で除染が始まるが、これは市から要請があつたわけではなく、地域の方々が自主的に申し出て仮置き場を確保したからです。住民の気持ちをも十分わからず、仮置き場の候補地を決めたことに対し謝罪すべきと考えるが市長の考えは。

**答** 謝るということについて私は考えておりませんし、当初から部長が申し上げたような選定経過に基づいて管理をしっかりと行かなくてはいけないという視点での選定に至つたもので、地元住民との懇談は当然と考える。



線量は今でも…

**質問を終えて**  
国の除染ガイドライン提示から10カ月が経過。仮置き場確保に市長の政治決断が待たれます。

- ① 市民の帰還数と時期の目標設定は
  - ② 新たな手法による田んぼの除染は
  - ③ 今後発生する無汚染堆肥の処理は
- その他の質問



西 銆治 議員

# これから市民生活を どう守るか

**問** 運転事故が大きな社会問題となっている現状で、生活交通委託代替バスの契約において市は安全安心な運行確保に向けた基本コンセプトと安全基準をどう定めているか。

**答** また、不採用路線の公共交通の維持のための補助支援策はないのか伺う。

**答** バス事業者として免許を取得した業者と安全安心な運行の確保を求めて、運行委託契約をしている。また、契約時は、バス事業者に対して道路運送法に基づき安全運送道路運送車両法に基づき保安基準並びに整備、点検、検査等を遵守するよう指導しており、運行管理上の安全基準の徹底を指導している。また、補助については地歩路線バス交通対策事

業の中で路線バスの欠損分を補填し維持に努めている。

**問** 今回の津波で流失した有形無形文化財の現状とその被害実態は。また鹿島の歴史民俗資料館の所蔵物の損傷が激しいと言うが今後どのように対処するのか伺う。

**答** 全有形文化財132件中、小高6件、鹿島5件、原町6件が被害を受けた。



現在の鹿島歴史民俗資料館

**質問を終えて**  
先人達が継承してきた民俗文化は心の復興に欠かせないものである。大切にしたい。

- ① 震災土地利用ゾーンの具体的な減災策は
  - ② 防災集団移転先の早期促進策は
  - ③ 放射性物質の海洋汚染影響は
- その他の質問